

■はじめに

この度は当社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
お客様の安全と、当製品を末永くご利用頂く為、ご使用前にこの取扱
説明書を必ずご覧になり、よくご理解いただいた上で正しくご使用く
ださい。また、この取扱説明書はいつでもご覧いただけるように大切
に保管してください。

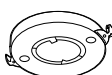
BRID®

⚠ 警告

△ 天井の配線器具を確認してください。



埋込ローゼット



角型引掛シーリング



丸型引掛シーリング

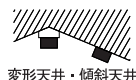
※ いずれの器具もついていない場合は、工事店に依頼して取付てください。



がたついたり、破損している配線器具（ロー
ゼット・引掛シーリング）には取り付けない。
火災、感電、落下のおそれがあります。



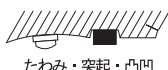
傾斜した場所に取り付けない。
火災、落下のおそれがあります。



変形天井・傾斜天井



凸凹のある場所に取り付けない。
落下によるけがのおそれがあります。



たわみ・突起・凸凹



器具を改造したり、部品交換をしない。
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



異常を感じた場合、速やかに電源を切る。
異常状態が収まったことを確認し、販売店にご相談ください。



器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まない。
感電、故障のおそれがあります。



交流 100 ボルトで使用する。
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。



アダプタは確実に取り付ける。
落下してけがのおそれがあります。



本体は確実に取り付け。
破損して感電のおそれがあります。



調光機能が付いた壁スイッチは使用しない。
火災、故障のおそれがあります。



点灯中及び消灯直後は素手で器具を触らない。
やけど、けがのおそれがあります。



湿気が多い場所や水のかかる場所、屋外（風呂場、
テラス等）では使用しない。
火災、感電、故障のおそれがあります。



指定の AC アダプターを使用する。
指定外の AC アダプターを使用すると、火災や
感電のおそれがあります。

安全上のご注意 取扱説明書の表示について

ご使用になる人や他の人への危害、財産の損害を防ぐために、
お守りいただく事を説明しています。

⚠ 警告 「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。

⚠ 注意 「軽傷を負う事ことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。



してはいけないこと（禁止）を示します。



注意を促す内容を示します。

⚠ 注意



照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、
外観に異常がなくても内部の劣化が進行しているため、
点検・交換をおすすめします。



付属の梱包材は取り除いて使用する。
そのまま使用すると、火災の原因となることが
あります。



この器具が使用できる温度は、5℃～35℃の
範囲です。



電気工事は電器工事店（有資格者）に依頼する。
一般の方の工事は法律で禁じられています。



器具の着脱、取付は両手で静かに扱い、確実に
行ってください。



器具に注意シールが貼付されている場合はその指
示に従ってください。



電源コードを無理に引っ張ったり、ねじったり曲
げたりしない。また、器具表面にコードが
触れないようにする。



器具に着色等をしない。

〈 お手入れに関して 〉

□ お手入れをする時は必ず電源を切る。

□ 1年に1回の「安全チェックシート」による自主点検、および
3年に1回の工事店などの専門家による点検を実施する。（点
検せずに長時間使い続けると、まれに発煙・発火・感電の原
因になります。）



「安全チェックシート」

<https://brid.box.com/s/f82cvdu9yf7cmj4usv0h5rxuw1stsm37>

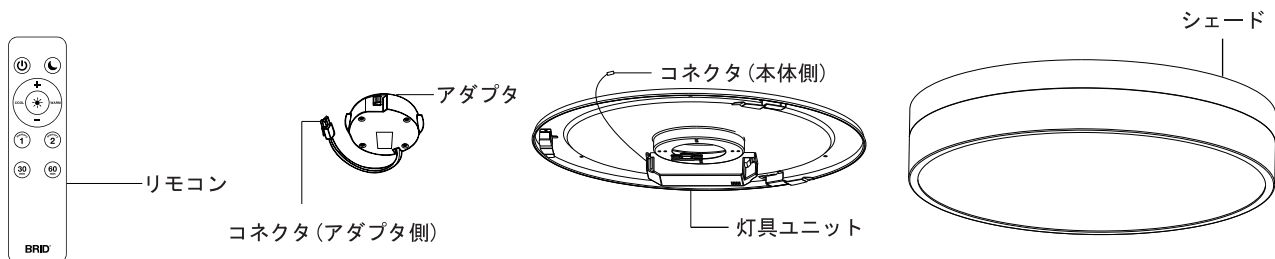
□ 器具が汚れた場合は柔らかい布または中性洗剤を含ませた柔
らかい布をよく絞ってから軽く拭き取る。

□ シンナーやベンジン等の揮発性のもので拭いたり殺虫剤を
かけたりしない。変質、故障の原因になります。

□ 器具を丸ごと水洗いしない。感電、錆などの原因になります。

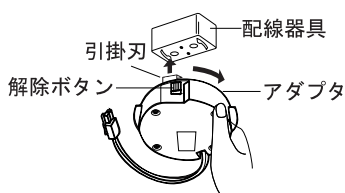
廃棄する場合 本製品を使わなくなり廃棄する場合は、お住まいの自治体のゴミの廃棄方法に従ってください。

■ 各部のなまえと付属品



■ 照明器具を取り付ける

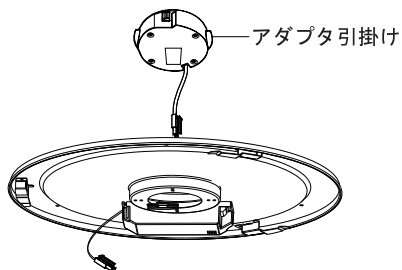
- 1 壁スイッチで電源を切る
- 2 アダプタを配線器具に取付ける
アダプタの引掛刃(2本)を、配線器具にはめ込み、カチッと音がするまで右に回す。



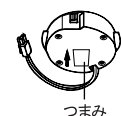
⚠ 警告

解除ボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。

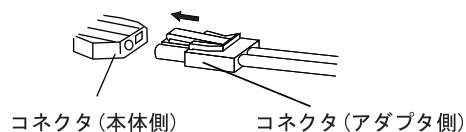
- 3 灯具ユニットを取り付ける
①灯具ユニットの穴にアダプタから伸びる電源コードを通す。
②本体のアダプタに合わせて、アダプタ引掛けが伸び切るまで天井に向かって押し上げる。



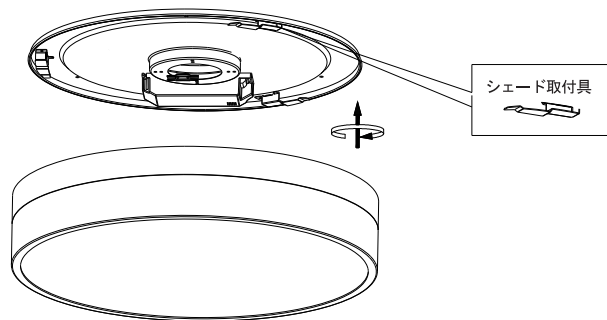
取り付けたら、アダプタのつまみを「ロック」方向に引いて固定してください。



- 4 コネクタを接続する
コネクタがカチッと音になるまで差し込む。



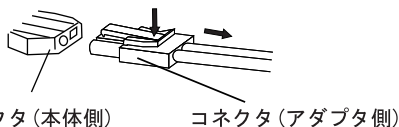
- 5 シェードを取り付ける
①シェードの張出部分を、本体側のシェード取付具と合わせる。
②シェードを持ち上げる。
③シェード取付具がカチッと音がするまで右に回す。
④シェードを軽く下に引っ張って、はずれないことを確認する。



- 6 壁スイッチで電源をつけて、点灯を確認する。

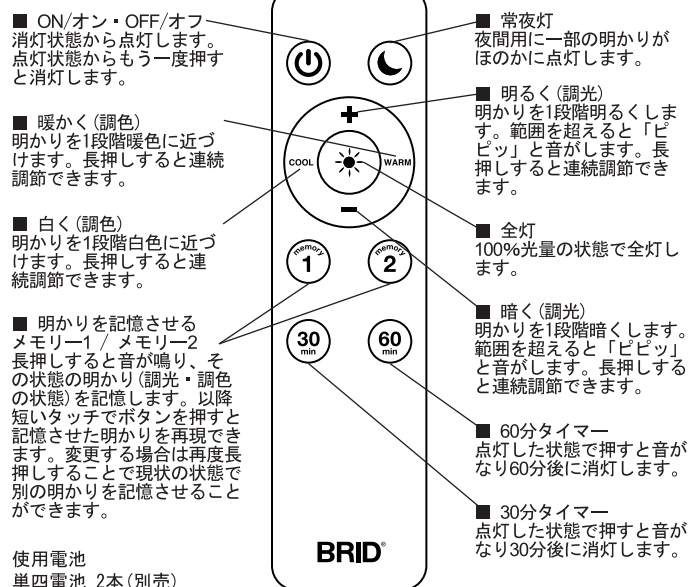
■ 照明器具を取りはずす

- 1 壁スイッチで電源を切る
- 2 シェードを取り外す
シェードを左に回して取り外す。
- 3 コネクタを取り外す
アダプタ側コネクタのつまみを押さえながら本体側コネクタから引き抜く。



- 4 灯具ユニットを取り外す
アダプタのつまみをロック解除側に押しながら灯具ユニットを取り外す。
- 5 アダプタを取り外す
アダプタの解除ボタンを押しながら取り外す。

■ リモコンで操作する



■ ご使用についてのお知らせ

【 器具自体の留意点 】

- LED光源は器具に組み込みのため、交換できません。
- LED光源にはバラつきがあるため、同じ形名の商品でも商品毎ごとに発光色や明るさが異なることがあります。
- 照射距離が近い場合や照射面などによって、光ムラが発生することがあります。
- 周囲の温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 必ず壁スイッチのある部屋で使用ください。
- 器具を長時間使用しない時は、壁スイッチを切ってください。 リモコンで消灯していても瞬時停電などにより点灯してしまうことがあり、不在中、長時間点灯したままといった事態もあります。
- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらない場合があります。
- 照明器具を取り外した時に、天井の内装材の材質、使用環境などにより、スポンジの跡がついたり、変色する場合があります。
- 照明器具を取り外した時に、スポンジと天井の摩擦力が低下して、回ってしまう場合があります。
- 酸、アルカリ、硫黄などの腐食性雰囲気のあるところ（温泉地など）では、使用しないでください。短寿命の原因となります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 冬季など周囲の温度が低い時は、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生したりすることがあります。
- 周囲の温度が高くなると、明るさが下がる場合があります。
- 調光時、照明器具の発行面端に明暗ができることがあります。

【 リモコンの注意事項 】

- リモコンは本製品専用です。テレビなど他の機器には使用できません。
- リモコンは本体の受信部に向けて操作を行ってください。
- リモコン受信距離は、障害物のない状態で約5mです。
- 天井、壁、床の色や材質によって、操作距離が短くなる場合があります。
- 電池は半年を目安に取り替えてください。（液漏れ防止のため）
- リモコンを改造したり、電池をショートさせたり、部品交換をしないでください。
- 充電式の電池は使用しないでください。
- 温度の高くなるところ、湿気の多いところなどで使用しないでください。
- 新旧、異種の乾電池は使用しないでください。
- リモコンを落としたり、水をかけたり、踏みつけたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンの送信部と照明器具の受信部は汚れると動作しにくくなります。汚れたら乾いた布で拭いてください。
- 照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- 点灯直後や全光点灯時、調光時などに、リモコンで切り替えにくいことがあります。その場合はしばらくしてから切り替えてください。
- 蛍光灯器具が取り付けられた部屋で使用する場合は、蛍光灯器具から1.5m以上離して取り付けてください。

■ 故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置
本体が取り付けられない	アダプタが正しく取り付けしていない	アダプタを外し再度、アダプタを取り付ける
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	コネクタを一度外し、コネクタを再度、差し込む
	壁スイッチがOFFになっているまたは、リモコンで消灯にして壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにしてリモコンで点灯状態を切り替える
リモコンで操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する